

講義名	流通政策			
担当教員	長坂 泰之			
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 1時限	授業形態	講義	
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考

主題と概要

(1)授業内容の全体像・・・日本の流通・商業政策を中心とした流通・商業の現場で起きている事象について学ぶ授業です。理論中心ではなく、実際の生の現場の事例を中心に、流通・商業の実態を学びます。
(2) 当科目の意義・・・流通・商業は政策と密接に関連しています。もし自分で商売をするということになった場合でも流通・商業政策を理解しているかしていないかで商売の成否に大きな差が出ることもあります。
(3)関連する問題の状況や課題の背景・・・特に地方では流通・商業も含め経済状況は非常に厳しく、「地方創生」がキーワードになっています。流通・商業面から見た地方創生について、みなさんと一緒に考えていきます。
(4)仕事として生かせるか・・・厳しい現場で生き残っている地域・商業は、それぞれ理由があります。その理由を知ることで、地域の経営、商業の経営について学ぶことができます。

到達目標

(1)知識について
この授業を履修すると、日本の流通・商業の移り変わりや政策と関わりがあることがわかります。
この授業を履修すると、日本と海外とのまちづくりの違いがわかります。
この授業を履修すると、商店街が元気がない理由がわかります。
この授業を履修すると、日本各地の元気な取り組みがわかります。
この授業を履修すると、まちに関わる様々な人の考え方がわかります。
(2)興味・関心・態度について
この授業を履修すると、商店街や大型ショッピングセンターの見方が変わります。
この授業を履修すると、自分の生まれた地域や住んでいる地域の商業の見方が変わります。
この授業を履修すると、地域資源、地域の魅力について興味を持つようになります。
この授業を履修すると、地域における人の重要性について理解できます。
この授業を履修すると、自分たちの価値、役割について考えるようになります。
(3)能力について
この授業を通して、これからの地域商業の活性化に大切な視点が身につきます。
この授業を通して、自分で商売をするときの心構えが身につきます。
この授業を通して、起業家精神が身につきます。

提出課題

毎回の小テスト
レスポンスを使用して、毎回の授業において出席及び当該授業の理解度チェックを兼ねた小テストを行います。
期末レポートを実施します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

必要に応じて小テストの結果等についてフィードバックします。

評価の基準

以下の評価基準となります。
70% 「授業で参考になったこと（一部課題提出あり）」（要提出・出欠確認）
なお、「授業で参考になったこと」の提出が半分以上（8回）を必須とします。
30% 期末レポートの提出は単位取得に必須とします。
なお、小テスト及び期末レポートで、まったく同じ内容のものが提出された場合、その全員をD評価とします。

履修にあたっての注意・助言他

・時間は厳守です。原則として遅刻は欠席扱いになりますので注意してください（聴講はできます）。
・毎回の授業では講義準備を通じて授業資料を添付・配布します（電子フォーマット）。
・通常の講義は教科書に沿って進むので、教科書を購入してください。

教科書	.中心市街地活性化のツボ、	長坂泰之	学芸出版社	2,000円	9784761525101

プリント資料及び参考文献

参考書として、
『商業まちづくり政策』（（渡辺達朗著、2014年、有斐閣）
『シールズ流通体系 地域商業の競争構造』（加藤明、石原武政編著、2009年、中央経済社）
『100円商店街 パル、まちゼミ』（長坂泰之編著、2012年、学芸出版社）、
『失敗に学ぶ中心市街地活性化』（横森豊雄、久場清弘、長坂泰之著、2008年、学芸出版社）

授業計画

第 1 回 イントロダクション、この講義が目指すところ
日本の商業の衰退の現状（阪本の郊外とまちなか）
第 2 回 我が国中心市街地衰退の要因・態本の取り組み
第 3 回 我が国の流通政策の変遷 政策は20世紀初頭からの約100年間で目まぐるしく変化
第 4 回 我が国の流通政策の変遷 復興政策と調整政策
第 5 回 東日本大震災被災地の商業復興・復興策
第 6 回 中心市街地活性化のツボ ～現場目線から流通政策に触れる～
「リーダージェットとタウンマネジメント」
第 7 回 あるまちの中心市街地活性化の取り組み期末試験内容提示（予定）
第 8 回 「明確な方向性と戦略」
第 9 回 「地域の強みを徹底的に磨く」
第 10 回 「まちのファンを育てる/まちの役者を育てる」
第 11 回 まちと商店の魅力（パル・まちゼミ）
第 12 回 つながる/連絡する/伝達する
第 13 回 「インターネットと情報発信を意識する」
第 14 回 「不動産所有者を巻き込む・所有と使用の分離」総括 私たちは流通政策から何を学んだのか？
第 15 回 期末まとめテスト

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	カ：実験、フィールドワーク
<input type="radio"/> キ：その他（A～L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

【予習】
教科書「中心市街地活性化のツボ」は講義の前に章ごとに読んでおくこと（2時間）。
【復習】
「授業で参考になったこと」から、自らの将来に役に立ったことについて振り返り、今後に活かすこと（2時間）。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

流通業界及び関連業界の政策及び動向、問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これをもとに、小売業界、流通に関する問題探索、課題提案ができる。
社会システムとしての流通の動向や仕組み、役割を理解し、これからの流通の姿を構想することができる。
小売業の社会的意義や日本経済における重要性について深い関心や理解をもち、それをもとに社会で活躍することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

社会は正解はひとつではありません。自由な発想で考え、発言する機会があれば発言してください。レスポンスなどを活用しながら双方向型の授業を目指します。

実務経験の有無及び活用

【実務経験あり】
教科書「中心市街地活性化のツボ」に掲載されている20以上の事例は自ら実務として関わった事例もしくは現地でのヒアリングをもとにその成功要因などを分析したものです。中小企業診断士（経済産業省）、地域活性化伝道師（内閣府）などで扱われた経験を生かした講義をすることとなります。

備考

1. 習熟を重視
最初、なぜ商店街が衰えたのかと我が国の流通・商業の時代の流れを画像なども用いて理解します。また、海外の取り組みについても画像などを用いて学びます。
そのうえで、全国性的な事例を画像などを通じて学び、これからの地域商業の方向性について、共に考えていきます。
2. 事例などにも隠れる成功の要因を探す
レジュメ及び参考テキストの事例などから、事例などにも隠れる成功の要因を探します。理解を深めるために「授業で参考になったこと」を提出してもらいます（必須）。